

修了認定・学位授与の方針(DP)	(1) 社会学、文化人類学、歴史学、地理学、民俗学に関して、研究を展開する基礎的能力、また、専門的な業務に従事できる技能を身につけています。						
	(2) 専門的な学識と技能の修得によって得られた広い視野と高い倫理観を備えています。						
	(3) 専門領域の基礎力並びに社会人としての基礎力の証左となる修士論文等を執筆する能力を有しています。						
対応する修了認定・学位授与の方針(DP)の番号	(2)(3)	(2)(3)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)
到達目標	A 社会学、文化人類学に関する専門的な学識と技能の修得によって得られた広い視野と高い倫理観、その証左を論文等にまとめて提示する能力を有している。	B 歴史学、地理学、民俗学に関する専門的な学識と技能の修得によって得られた広い視野と高い倫理観、その証左を論文等にまとめて提示する能力を有している。	C 社会学、文化人類学に関して、研究を展開できる基礎的能力、また専門的な業務に従事できる技能を有している。	D 歴史学、地理学、民俗学に関して、研究を展開できる基礎的能力、また専門的な業務に従事できる技能を有している。	E 社会学、文化人類学の基礎的事項について理解し、説明することができる。	F 歴史学、地理学、民俗学の基礎的事項について理解し、説明することができる。	G 専攻・領域を超えて、多様化する社会に対応した幅広い専門的知見と柔軟な思考力を有している。
科目群	専門演習科目 (社会と文化)	専門演習科目 (歴史と地理・民俗)	専門講義科目 (社会と文化)	専門講義科目 (歴史と地理・民俗)	関連基礎科目 (社会と文化)	関連基礎科目 (歴史と地理・民俗)	専攻横断科目
＜専門探究コース＞修士論文の作成、口述試験 ＜多元教養コース＞修士論文に代わる研究成果物の作成、口述試験							
2 年	特定研究Ⅰ・Ⅱ	総合演習Ⅰ・Ⅱ	応用社会学特殊講義Ⅰ 応用社会学特殊講義Ⅱ 家族社会学特殊講義 経験社会学特殊講義 表象文化特殊講義 方法論研究Ⅰ 方法論研究Ⅱ 方法論研究Ⅲ 方法論研究Ⅳ 人類学特殊講義Ⅰ 人類学特殊講義Ⅱ 社会運動特殊講義 地域文化特殊講義	歴史学特殊講義Ⅰ 歴史学特殊講義Ⅱ 歴史学特殊講義Ⅲ 歴史学特殊講義Ⅳ 歴史学特殊講義Ⅴ 歴史学特殊講義Ⅵ 人文地理学特殊講義Ⅰ 人文地理学特殊講義Ⅱ 民俗文化特殊講義Ⅰ 民俗文化特殊講義Ⅱ 社会史特殊講義Ⅰ 社会史特殊講義Ⅱ	応用社会学基礎研究Ⅰ 応用社会学基礎研究Ⅱ	史学地理学民俗学基礎研究Ⅰ 史学地理学民俗学基礎研究Ⅱ	日本文学の主要問題 a・b 日本語学の主要問題 a・b 英語学の主要問題 a・b 英米文学の主要問題 a・b 英米文化の主要問題 a・b 応用社会学の主要問題Ⅰ・Ⅱ 歴史学と地理学の主要問題Ⅰ・Ⅱ 人間科学の主要問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ
1 年	応用社会学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	史学地理学民俗学演習Ⅰ・Ⅱ					

＜専門探究コース＞

- 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）を、専攻横断科目と併せて8単位を上限として選択科目に充てることができる。
 - 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、4単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 注）上記1の他専攻の開講科目（専門科目に限る。）は、カリキュラムツリー上に表示していない。

＜多元教養コース＞

- 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。
 - 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、4単位を上限として選択科目に充てることができる。
- 注）上記1の他専攻の開講科目（専門科目に限る。）は、カリキュラムツリー上に表示していない。